

GPSロガー用ソフトのダウンロード

PICマイコンの Mission 2 書き込みと動作確認

Mission1ではハードウェアの組み立てを解説しました。Mission2では必要なソフトウェアをダウンロードしてPICマイコンに書き込んでみます。この作業を経ることにより、Mission1で組み立てたハードウェアが簡易GPSロガーとして動作するようになります。

稲崎 弘次



ダウンロードと書き込み

今回製作した簡易GPSロガーのPIC用ソフトウェア (HEXファイル) は、次のURLからダウンロードすることができます。とりあえず動作だけを目標にするなら、HEXファイルだけをダウンロードしてください。

<http://www8.plala.or.jp/InHisTime/>

筆者の場合、PIC書き込み器(ライター)には、マイクロチップ社純正のPICkit2 (PICプログラマ&デバッガ)を使用しています。ほぼすべてのフラッシュ・タイプのPICに対応したISP (インサーキット)方式のプログラマです。また、USBインタ

フェースによる小型サイズのプログラマで、簡単な操作で書き込みができるのが特徴です(写真2-1)。

PICkit2に、PIC18F2550を書き込むための書き込みアダプタを用意します。蛇の目基板とICソケット(28ピン)、10kΩの抵抗、ピン・ヘッダ(6ピン)を用意して、写真2-2、図2-1のようにはんだ付けしてください。

● 書き込み手順

- ① PICkit2, 書き込みアダプタ, PIC18F2550, ダウンロードしたHEXファイルを用意します(写真2-3)。
- ② PICkit2に付いている専用のソフトウェアを起



写真2-1 PICkit2 (PIC書き込み器)の外観

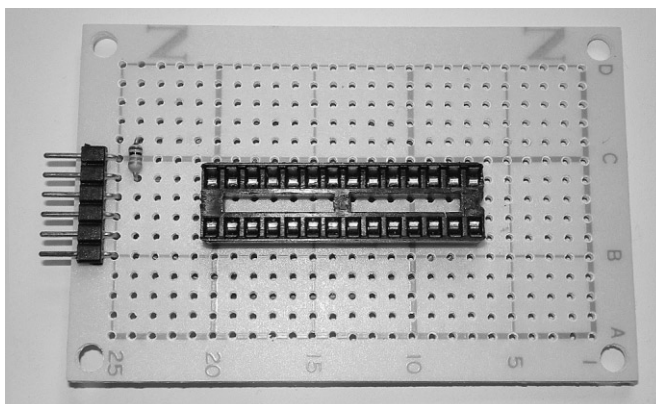


写真2-2 書き込みアダプタの実装(例)

Mission 2 PICマイコンの書き込みと動作確認

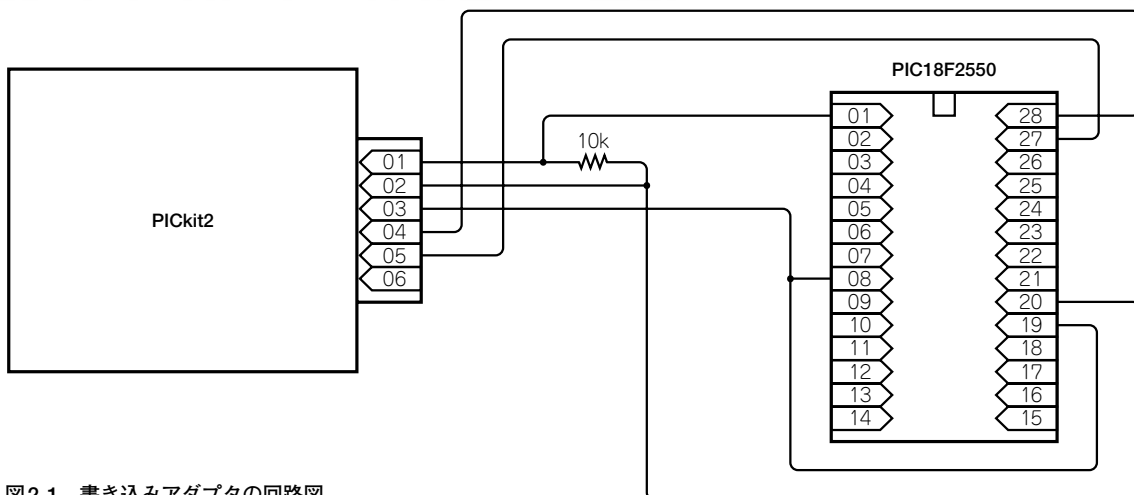


図2-1 書き込みアダプタの回路図

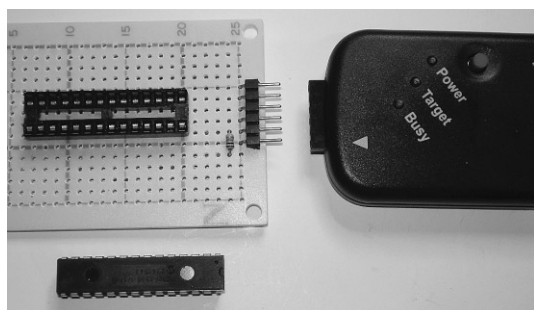


写真2-3 PICkit2, 書き込みアダプタ, PIC18F2550

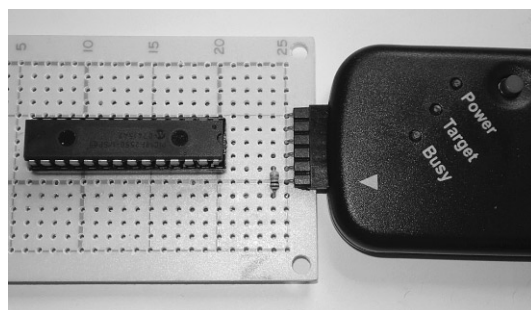


写真2-4 PICkit2と書き込みアダプタの接続

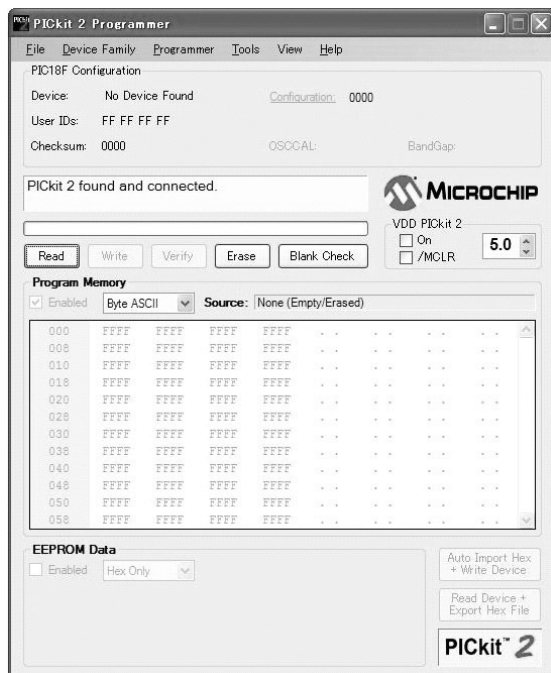


図2-2 PICkit2の起動

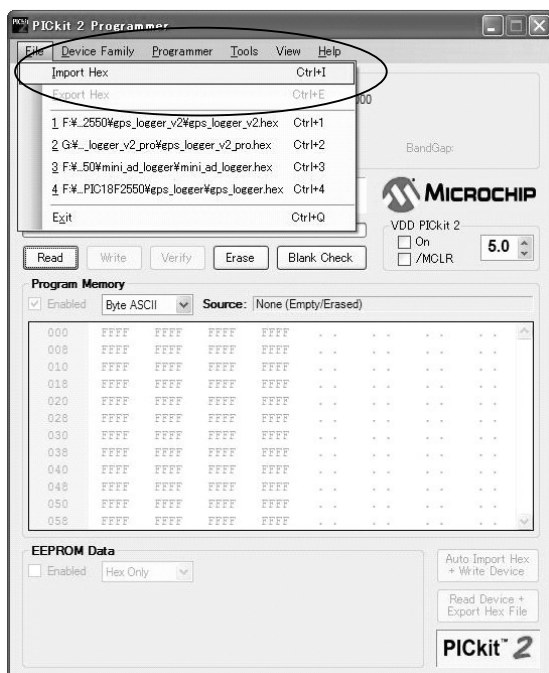


図2-3 HEXファイルのインポートの指定